

# なぜ今合併なのか…… 町村をとりまく課題

## 1 日常生活圏の広域化への対応

道路の整備や情報・通信手段の発達などにより日常の生活圏が拡大し、これにともない行政も広域化に対応する必要があります。より広い観点から、一体的なまちづくりを進めることが求められています。

## 2 多様化する住民ニーズへの対応

住民の価値観の多様化、技術革新などの進展にともない、住民が求めるサービスも多様化し、高度化しています。これに対応するため、専門的、高度な能力を有する職員の育成、確保が求められています。

## 3 少子高齢化への対応

人口規模の少ない地域で人口減少や高齢化が急速に進み、高齢者への福祉サービスがますます大きな課題となってきます。特に高齢化が著しい町村では、介護保険等の行政サービスのレベルを維持することが困難になることが予想されます。

## 4 行政運営における効率性の向上

国、地方を通じて危機的な財政状況にある中で、より効率的な行政運営が求められています。

## 5 地方分権の推進

地方分権は、住民に身近な行政の権限をできる限り地方自治体に移し、地域のニーズに応じた創意工夫による行政運営を推進するようにするための取り組みです。これを円滑に進めるためには行政基盤の強化・効率化するための努力が必要になります。

これらに対応する方策として**町村合併が有効な手段のひとつ**であると考えられています。ところで、町村合併には、次のような期待される効果、心配される事柄が想定されます。

### 合併に期待される効果とは？

#### ◆行政サービスの向上が図れます。

それぞれの町村の組織が集約されることで管理経費が削減され、その削減された経費や余裕の生まれた人材を、保健や福祉などの専門的・高度な能力を必要とする部門に充てることができます。また、規模が大きくなれば専門分野の職員を確保・育成することができ、例えば介護保険、環境問題等の今必要とされる分野へ重点的な配置が可能となります。

#### ◆公共施設の広域的な利用が期待できます。

これまで各町村が整備してきた各種公共施設を、より広い範囲の住民の方々が利用できるようになります。また、現在の役場や支所を利用して、勤務地等で各種届け出や証明等が行えるようになる等、窓口サービスの充実が可能となります。

#### ◆広域的な観点にたったまちづくりができます。

類似した公共施設が重複して整備されたりするのを防ぎ、住民にとって利用しやすい公共施設を地域全体にバランスよく配置することが可能になります。例えば、道路整備や市街地の再編、文化施設、スポーツ施設などの整備を効率よく実施することができ、一体的なまちづくりを進めることが可能となります。

### 合併に心配される事柄は解決できるの？

#### ◆中心部ばかりがよくなって、周辺部は取り残されるのでは？

住民の皆さんの意見を取り入れながら、合併後の将来ビジョンである「新町建設計画」を策定する過程で、周辺地域にも、十分配慮したまちづくりを進めなくてはなりません。住民の皆さんの意見もたいへん重要となります。

#### ◆住民の意見が届きにくくなりませんか？

合併して地域住民の声が届きにくくなるのでは、合併の意味がありません。合併後、旧町村単位で「地域審議会」等を設置し、新町が新町建設計画に基づいて地域間のバランスのとれたまちづくりを行っているかのチェック等を行い、住民参加が可能となります。